3M 製品説明書

Product Bulletin IJ5000
Revision1 Jul. 2009

IJ5000
３M™反射シート

定　義

反射シートIJ5000は、溶剤インクジェットプリンタで作画する屋内外サイン用途等のインクジェット作画媒体です。

特　徴

- 柔軟性のある封入レンズ型屋外反射シートです。

対応インクジェットプリンタ

・ SPZ-A/Mシリーズ
・ REP-54

Performance Guarantee対応プリンタについては別紙適合表をご参照下さい。

推奨オーバーラミネートフィルム

・ IJ4116：光沢、感圧型透明粘着剤付き
・ IJ4117：艶消し、感圧型透明粘着剤付き

上記以外のオーバーラミネートフィルムとの組み合わせについては事前に適性評価をし、御使用下さい。

製品特性

IJ5000白色反射シート

サイズ	1219．2mm×45.7m 作画面外巻きのロール状製品です。
コア	3 インチコア
フィルム厚	0.14～0.16mm(粘着剤含む)
粘着剤	感圧活性型粘着剤 着色なし 再剥離性はありません。
反射性能	85Cd/lx/m²（代表値）
貼り付け温度	10～30℃(平滑面)

試験方法：
フィルム厚：JIS K 7130に準ずる
反射性能：JIS Z 9117に準ずる
特性における数値は、原則として温度20℃・湿度65％での試験結果を基にしています。

耐候性

日本国内の標準的な環境下で屋外垂直面のサインに施工した場合に、以下の耐候性を有しています。

オーバーラミネートフィルム	耐候性
IJ4116/4117	約１年

- 耐候性の数値は、弊社試験の結果に基づく予測される年数であり、保証年数ではありません。
- インク自体に耐候性を有する場合に限ります。
- 施工方法や使用環境により、この値より短くなる場合があります。

御使用に際しての注意事項

■　印　刷／加　工

- 予め実際に印刷を行い、発色及び乾燥性を確認の上御使用下さい。インク濃度が高く印刷後乾燥が充分でない状態で巻いた場合、印刷面が裏面に密着し、画像にダメージを与えることがあります。可能であれば 250%を濃度の上限としてデータを準備下さい。高濃度（250%以上）印刷される場合、プリンタ本体またはソフトにて、ページ間の乾燥、または用紙カットまでの時間を数分間、あるいはスキャン間の乾燥時間を数秒設けて下さい。
- 作画品質を維持するために、ご使用プリンタの「ヘッド高さ調整」、「メディア補正」、「ドット位置補正」、「ピンチローラー等清掃」を必ず行ってください。詳しくはお使いのプリンタ取扱説明書をご覧下さい。
- メディアのセットは下記の点にご注意下さい：
  - ➢　メディアの向き・側面がまっすぐであること
  - ➢　ロール引き出した際全体にたるみがないこと

  不適切なセットは、印刷画質の悪化やヘッド破損の原因となります。
- 室内の空気中、及びプリンタ上メディア搬送・印刷部周りには、ほこり等がないような状態で印刷してください。色抜け等の印刷不良が発生することがあります。
- 印刷エリアの周囲であってもワックス及び潤滑スプレー等を使った場合、含有されている微量のシリコーン等が浮遊し印刷面に付着します、その結果、インクはじきが発生することがあります。
- 印刷前のメディア表面には指紋、汚れ、傷がつかないようにして下さい。取り扱い時には綿製の手袋等をご使用になる事をお勧めいたします。また、表面を液体等などで洗浄しないで下さい。印刷性に大きな影響が出ます。
- オーバーラミネートフィルムを貼った場合、色相等が多少変化します。予め発色をご確認の上、印刷色を設定して下さい。
- 特にベタ色の印刷の場合、プリンタの特性によって印刷途中で、微妙に色の変化が起こることがあります。長尺、大判グラフィックス作成の際には施工前にグラフィックを広げて色の調子をご確認下さい。
- ヒーター適温設定は環境温度などにより異なります。

メディアにシワがよっていないか、プラテンへの張り付きがないか、ビーディングが発生していないかを確認しながら適温に設定して下さい。

- より充分なインクの定着のためには、室温でメディアを広げた状態で最低1日程度放置乾燥して下さい。充分な乾燥が得られない場合は移送時に印刷面にダメージが発生したり、充分な接着力が得られないことがあります。同じようにオーバーラミネート加工も充分な乾燥後に行って下さい。
- 残留溶剤のため、印刷濃度が高くなるに従い初期接着力は低下する傾向にあります。
- 故意に強く印刷面を擦った場合、インクが剥げることがあります。
- 一般的に屋外使用時にはグラフィック表面に汚れが付着します。そのため洗浄を行うことが予想されます。しかし、洗浄方法によってはその汚れ自体が原因でインクが削れてしまうことがあります。従いまして、汚れ付着の可能性のあるところへの施工する場合にはオーバーラミネート等の表面保護をお勧めします。
- インク濃度が高い画像の場合、印刷後に長時間きつく巻いたままの状態では印刷面が剥離紙裏面に密着し、画像にダメージを与えることがあります。
- 巻き芯部で巻き締まりによる表面光沢の低下が起こることがあります。その場合、80℃以下のドライヤー等にて加熱をお願いいたします。

■ 施 工

- 施工は下記の標準的な手順で実施して下さい。

手順 1;貼り付け下地への施工可否判断

- 表面が平滑な下地にのみ施工可能
- 大規模広告看板として一般的でない下地材へ施工する場合は、事前に貼り付け試験を実施し、施工可否を判断して下さい。
- 使用期間を想定した試験施工を一定期間*[1] 実施し、外観異常(浮き、剥がれ、変色等の有無)がないことを確認し判断して下さい。

- 下記下地へは施工できません。

下地種類	施工不可理由
ポリカーボネート(PC)	気泡発生
ポリエチレン(PE)	接着不足
ポリプロピレン(PP)	接着不足
銅、真鍮、スズ	粘着剤変質
表面に凹凸を有する	接着不足
シリコンコーキング	接着不足、追従不足
ゴム	ゴム成分移行による変色
石油類*[2] が滞留する箇所	外観異常(膨潤、剥がれ等)
常時 65℃以上の高温	耐候性低下、変色
他	外観異常(試験施工の結果)

*[1] 使用期間と同期間もしくは半分の期間、または夏など気象条件として過酷な時

*[2] ガソリン、軽油、灯油なども含む

手順 2;下地調整

下地に付着した土砂、錆、油脂分等フィルムの接着力を低下させる物質の除去を実施して下さい。

下地の状況により、主に以下の 3 種類の方法があり、状況によって最適な方法を実施して下さい。

- 水清掃
- IPA(イソプロピルアルコール)等のアルコール清掃
- ケレン及び下地処理(プライマー塗布等)

手順 3;貼り付け

- プラスチックスキージー(弊社製 PA-1 等)を使用し、フィルムを十分に貼り付け下地に圧着して下さい。
- 本製品は直貼りのみ可能です。水貼りはできません、また、剥離紙は水に濡らさないでください。

施工時の注意事項

- 塩水がかかったり、アルカリ/酸性洗浄液を使用した場合、また、貼り付け下地、特にプラスチックの場合その下地の添加物の析出によっても反射層にダメージを与えることがあります。
- 溶剤蒸気に触れるところではエッジシールを行って下さい。
- 貼り付け基材面温度が 10℃以下の場合、十分な初期接着力が得られません。貼り付け下地が貼り付け温度範囲内であることを確認し施工して下さい。
- 結露し易い箇所、十分な接着力が得られないことがあります。
- アウトガスが出やすい下地基材に貼り付けた場合、膨れが発生することがあります。
- 平面以外の施工において、十分な接着力と浮き等の低減の為、加熱圧着することを推奨致します。
- ガラス面への施工はお勧めいたしません。

■ グラフィックスのメンテナンス

- グラフィック表面を洗浄する場合、研磨剤を含まない中性の洗浄液で水洗いして下さい。
- 推奨オーバーラミネートフィルムで表面が保護されたグラフィックスは IPA(イソプロピルアルコール)による表面清掃が可能です。但し、グラフィックス端部に IPA が残留しないよう十分にふき取って下さい。
- 土砂等の汚れがついたまま、表面を拭くとオーバーラミネートフィルムに傷が付くことがあります。従いまして、洗浄は最初に表面に付着した粒子分を水洗等で取り去り、その後、表面を軽く拭き取る程度にして下さい。
- オーバーラミネートにて表面が保護されていないグラフィックスは溶剤（アルコールを含む）を使用すると画像が脱落することがあります。また、土砂などの汚れ成分が研磨材として働き、表面を水拭きするだけでインクが脱落する場合がありますので、注意した清掃が必要です。
- 一度掲示したものを剥がし、再度掲示する事はおすすめいたしません。

■　剥　離

- 本製品は再剥離性能を有しておりません。
- 剥離の際にはまず加熱し、可能な範囲で剥がすことお勧めいたします。（粘着剤は残ります。）
- 加熱しても剥離できない場合には剥離剤(弊社製 R221 等)を使用して下さい。
- 残留した粘着剤はその量に応じて、IPA（イソプロピルアルコール）もしくは剥離剤(弊社製 R231 等)をご使用ください。

■　保　管／運　搬

- 鋭角に折り畳んだ場合、画像にダメージが発生することがあります。また、フィルム面を内側にして巻いた場合、ポップオフ（剥離紙からの浮き）が発生しやすいため、移送の場合には、直径 15cm程度のコアに画像を外側にして緩やかに巻いて下さい。
- 保存期間は 1 年間ですが、購入から半年以内のご使用をおすすめいたします。

以下の条件で保管して下さい。

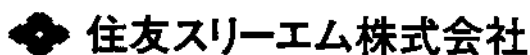
- ➢ なるべく開梱しない状態、または初期の包装状態。
- ➢ 乾燥した屋内で直射日光の当たらないところ。
- ➢ 温度 38℃ 以下、湿度 30～70%、 結露を避けて下さい。
- ➢ ロールを積み重ねたり、部分的な圧力がかかったり、重量物を載せることは避けて下さい。
- ➢ 使用後は速やかにプリンタから取り外し、元の袋に入れ、湿気が入らないようにして保管して下さい。

■　その他

- ご使用になるプリンタ、及びプリント用ソフトウエア、インクの説明書を十分お読み下さい。
- 廃材は産業廃棄物として処理して下さい。

免責事項

- ここで用いている数値は平均的なものであり、保証値ではありませんので規格等の作成には使用できません。
- 予告なく改良の為製品仕様を変更する場合があります。
- 本製品が明らかに不良であると証明された場合は良品と交換にて対応致します。それ以外の責に対してはご容赦願います。
- この説明書の内容については十分信頼できるものと確信しております。しかしながら、この情報によってもたらされる利益・損害等に対し、いかなる保証も規定するものではありません。
- この説明書もしくは本件フィルムの使用・使用不能もしくは誤使用によって生じるあらゆる損失・損害に対し、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

その他不明な点につきましては、弊社担当販売員にお問い合わせ下さい。

住友スリーエム株式会社
コマーシャルグラフィックス事業部
〒158-8583　東京都世田谷区玉川台 2-33-1
http://www.mmm.co.jp/cg/